

小動物分子イメージング

2011/11/18(金) 17:30～18:30

大阪大学医学部附属病院

外来・中央診療棟 4 階カンファレンスルーム

藤田保健衛生大学医学部
放射線医学教室

准教授 外山 宏 先生

小動物 PET/SPECT は生きたマウス、ラットの繰り返し測定が可能であり、放射性薬剤の全身分布を深部臓器まで評価できます。これらのイメージング手法を用いることにより、集積の局在評価のみでなく、その高い感度、定量性、解像度の特徴を生かして血流、代謝、受容体などを定量評価できます。しかし人間の PET とは異なるいくつかの注意点があります。

本セミナーでは、長く小動物 PET のイメージングに携わられていらした外山宏先生をお招きし、小動物 PET の定量的画像検査の基本である、マウスの血管確保、麻酔の影響などのハンドリングについて解説いただきます。また、脳ブドウ糖代謝定量、アミロイドイメージング、ラット脳傷害モデルにおける活性化ミクログリアの評価など、外山先生の研究成果を紹介していただきます。

略歴

1990 年	藤田学園保健衛生大学大学院博士課程修了
1991-1992 年	カナダ・トロント大学医学部マウント・サイナイ病院 放射線科リサーチフェロー
1992 年	藤田保健衛生大学医学部放射線医学教室講師
2001-2003 年	米国・国立衛生研究所精神科 (NIMH, NIH) PET イメージング部門客員研究員
2004 年より	藤田保健衛生大学医学部放射線医学教室准教授

主 催：大阪大学医学系研究科附属 PET 分子イメージングセンター

連絡先：06-6879-3764

info@pet.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.pet.med.osaka-u.ac.jp>

<http://www.tracer.med.osaka-u.ac.jp/index-jp.htm>